

龍谷大学の「建学の精神」

龍谷大学の「建学の精神」は「浄土真宗の精神」です。浄土真宗の精神とは、生きとし生けるもの全てを、迷いから悟りへ転換させたいという阿彌陀仏の誓願に他なりません。迷いとは、自己中心的な見方によって、真実を知らずに自ら苦しみをつくり出しているあり方です。悟りとは自己中心性を離れ、ありのままのすがたをありのままに見ることのできる真実の安らぎのあり方です。阿彌陀仏の願いに照らされ、自らの自己中心性が顕わにされることにおいて、初めて自己の思想・観点・価値観等を絶対視する硬直した視点から解放され、広く柔らかな視野を獲得することができるのです。本学は、阿彌陀仏の願いに生かされ、真実の道を歩まれた親鸞聖人の生き方に学び、「真実を求め、真実に生き、真実を顕かにする」ことのできる人間を育成します。このことを実現する心として以下5項目にまとめています。これらはみな、建学の精神あってこそその心であり、生き方です。

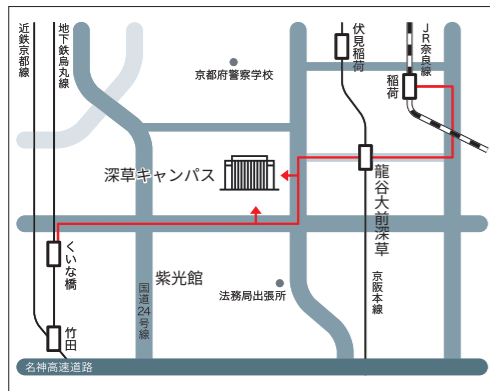
- ・すべてのいのちを大切に「平等」の心
- ・真実を求め真実に生きる「自立」の心
- ・常にわが身をかえりみる「内省」の心
- ・生かされていることへの「感謝」の心
- ・人類の対話と共存を願う「平和」の心

■お問い合わせ先

龍谷大学キャリアセンター・インターンシップ支援オフィス(深草)

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
TEL: 075-645-2322
FAX: 075-645-5556
intern@ad.ryukoku.ac.jp
<https://career.ryukoku.ac.jp/>

深草キャンパス

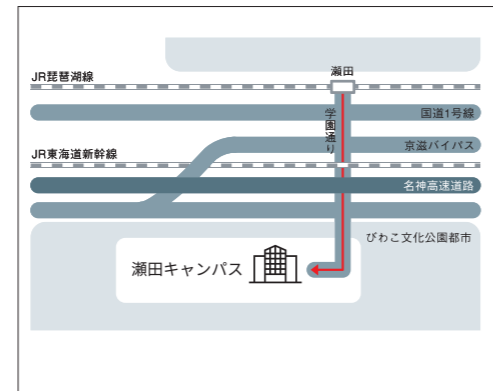


- 地下鉄「京都」駅から竹田方面へ「くいな橋」駅下車、東へ徒歩約7分
- JR「京都」駅から奈良方面へ「稲荷」駅下車、南西へ徒歩約8分
- 京阪「祇園四条」駅から淀屋橋方面へ「龍谷大前深草」駅下車、西へ徒歩約3分

龍谷大学キャリアセンター・インターンシップ支援オフィス(瀬田)

〒520-2194 大津市 瀬田大江町横谷1-5
TEL: 077-544-7265
FAX: 077-544-7264
intern@ad.ryukoku.ac.jp
<https://career.ryukoku.ac.jp/>

瀬田キャンパス



- JR「京都」駅から米原方面へ「瀬田」駅下車、帝産バス約8分

龍谷大学は、あらゆる「壁」や「違い」を乗り越えるために、「まごころ」を持ち、「人間・社会・自然」について深く考える人を育てることに重きを置いた教育を展開しています。学生は、在学期間において本質を見極める目を養い、自らの可能性を広げていきます。

龍谷大学インターンシッププログラムについて

キャリア支援の方針

本学におけるキャリア支援は、建学の精神にもとづき、「真実を求め、真実に生き、真実を顕かにする」ことの出来る人間を育成し、社会的・職業的自立に向けて必要となる知識、能力、態度を育むことを目的とし、一人ひとりに寄り添った支援を行います。その上で、学生の職業観・勤労観を醸成し、主体的な進路選択、希望する進路の実現のために、「キャリア教育」と「進路・就職支援」を二本柱として、全学のおよび体系的に取り組んでいます。

インターンシップの基本理念

本学では、インターンシップを「職業現場での実体験を通して、大学における学びの意義を認識し、学生の自立とキャリア形成を支援する実践的な教育プログラム」と位置づけ、全学的に取り組んでいます。

- ・社会現場を踏まえた幅広い知識とスキルの教育
- ・人生観・職業観確立への支援
- ・自主性・自立性・社会性の涵養等を目的としたコーオプ教育

本学学生が参加できるインターンシッププログラム ※自己応募型は除く

実施主体	龍谷大学				大学コンソーシアム京都		
	協定型インターンシップ			ICS関西(※) インターンシップ	アカデミック インターンシップ	ビジネス・ パブリックコース	長期プロジェクト コース
プログラム名称	ベーシック	経済同友会	グローバル				
概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆龍谷大学が協定を締結する企業・団体等において実施する約2週間のインターンシッププログラム ◆全21講のグループワークを主体としたゼミ・演習形式の充実した事前・事後学修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆龍谷大学が協定を締結する経済同友会会員企業(主に首都圏)において実施する2~4週間のインターンシッププログラム ◆事前・事後学修は「ベーシック」「グローバル」と合同で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆グローバルな視点や国際感覚を醸成するためのインターンシッププログラム ◆事前・事後学修は「ベーシック」「経済同友会」と合同で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆企業複数社と関西複数大学の連携のもとに実施する7日間の共同インターンシッププログラム ◆1日ごとに1社ずつのプログラムを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆学部における専門教育の1つの柱として、大学での学びが各企業の現場においてどのように活かせるのかを学ぶインターンシッププログラム 	<ul style="list-style-type: none"> ◆企業・行政機関・非営利組織(NPO・NGO等)において実施する2週間~1ヶ月程度のインターンシッププログラム 	<ul style="list-style-type: none"> ◆企業・行政機関等が提示したテーマに沿って実施する、約5ヶ月間のプロジェクト型インターンシッププログラム
対象	全学生	学部1・2年次生	全学生 (グローバル・キャリア・チャレンジプログラム(GCCP)受講修了者推奨)	学部1・2年次生		全学生	全学生
事前・事後学修	○	○	○	○	各プログラムによって異なる	○	○
実習時期	夏期休暇中	夏期休暇中	夏期休暇中	夏期休暇中		夏期休暇中	6月中旬~11月下旬(受入先ごとに異なる)
単位認定	○	○	○	×		○	○

※ICS関西: Internship & Creationship Study 関西

協定型インターンシップ(ベーシック・グローバル)について受入れをご検討ください。

1・2年次生の受入れについて、積極的にご検討願います。

協定型インターンシップについて

開始年度	2006年度~
実習期間	原則、2週間(実働10日間)以上
実習時期	夏期休暇期間中
実習形態	対面・オンライン・ハイブリッド ※応相談
申込期限	2月中旬(実施年度により変更する場合がありますため、詳細は依頼文書をご確認ください)
単位認定	単位認定あり(ただし、各学部のカリキュラムにより異なる)
選考・マッチング方法	書類および面接選考を実施し、大学でマッチング
事前・事後学修	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学修(自校史、業界研究、グループワーク等) ・事後学修(グループワーク、報告会等) ※演習形式のグループワークは専任教員が担当します。 ※事後学修にある「報告会」には受入企業・団体様にもご参加いただいております。

※2022年度入学生から、協定型インターンシップは、1・2年次生対象のプログラムに変更となります。
 なお、それ以前の入学生については、現行プログラムのままとしますので、引き続き3年次生の受入れもお願いする予定です。

実習生受入れのメリット

組織内の活性化に繋がる

指導を担当した社員の成長に繋がるとの声をいただきます。
 また、学生ならではの新しい視点や発想による企画開発や業務改革に取り組む機会になります。

自社PR・広報に繋がる

実習生に対し、社会貢献の視点だけでなく企業・団体の果たす役割を認知させるとともに、業界や企業理解を深めさせる機会になります。

安心して実習生を受入れていただけます。

- ①大学との間で協定書を締結します。
- ②原則として、交通費や給与の支給は必要ありません。
- ③実習中の思わぬ事故や機密漏えい等、想定されるリスクを防止・軽減する以下のような対策を取ります。
 - ・インターンシップ保険への加入
 - ・リスクマネジメント講習の実施